

「アイルランド」スコットランド」其他英國領地ノ裁判所ニ於テ與ヘタル裁判モ亦此内ニ含蓄スルモノトス

凡ソ外國裁判ト雖モ英國裁判所ニ於テ之ヲ強認トシ論告シ得ルヲ以テ一般ノ原則トス故ニ外國裁判ニシテ之ヲ論告シタル以上ハ英國裁判ト同シク確定ノ効力ヲ生スヘキナリ而シテ前ニ記載シタル所ノ條件ハ又外國裁判ヲ有効ト爲スニ付キ必要ナルヲ以テ此條件ヲ缺クハ強認ノ効力ヲ生セサルハ論ヲ待タス

外國裁判ニシテ其外國ニ於テ正當ナル裁判ト見做スモ英國ニ於テ之ヲ正當ナリト見做サ、ル場合アリ是等ノ場合ニ於テハ其外國裁判ハ之ヲ強認トシテ論告スルヲ能ハス是レ彼我法律ノ異ナル所ヨリ生スルモノニシテ所謂法律ノ抵觸ナリトス其重ナル場合ハ左ノ如シ

第一 局外中立國ニ於テ設置シタル敵國ノ戰利裁判所 (Prize Court)ノ

裁判

第二 英國臣民カ英國ニ於テ取結ヒタル結婚又ハ離婚ヲ無効トスル

外國裁判

第三 英國ニアル不動産ニ關スル外國裁判

第二節 捺印強認 (Estoppel by Deed)

捺印強認トハ捺印證書ヲ作リタル者ニ於テ後日其證書ニ記載シタル事柄ニ對シテ反對ノ陳述ヲ許サ、ル法律規則ヲ云フ

凡ソ捺印證書ハ契約者ニ於テ其證書ニ印影ヲ押捺シ引渡ノ式ヲ履行シタル後始メテ効力ヲ生スルモノナリ故ニ契約證書中最モ嚴正ノモノニシテ其嚴正ナル證書ニ記載シタル事柄ニ對シ後日苦情ヲ述フルヲ許スニ於テハ嚴正ノ効用ヲ失ハシムルニ似タリ是ニ於テカ法律ハ強認ノ効力ヲ與フルモノトス

此種ノ強認ハ記録強認ト異ナル所アリ何トナレハ記録ハ法律自ラ作爲シタルモノニシテ直接ニ訴訟人ノ所爲ニ因リ生シタルモノニアラス之ニ反シテ捺印強認ハ直接ニ契約者ノ所爲ニ因テ生スルモノナレハ此點ニ付テハ捺印強認ハ却テ次ニ述フル所ノ普通強認ト相等シキモノナリ

捺印證書ヲシテ強認ノ効力ヲ生セシムルニ付キ必要ナル條件數多アリ而シテ其重ナルモノハ前ニ述ヘタル記録強認ノ場合ト略ホ同一ナリ即チ左ノ如シ

第一 必要ナル事柄ニ付キ強認ノ効力ヲ生スルニ止マルモノトス凡テ捺印證書ヲ以テ契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ其契約ニ因テ生シタル權利義務ハ勿論其權利義務ヲ生スヘキ事實ニシテ證書面ニ明記シアル所ハ之ヲ必要ノ事柄ト爲スヲ以テ強認ノ効力ヲ生スルモノ

トス故ニ權利義務ニ直接ノ關係ナキ事柄例ヘハ日附分量等ノ如キハ通例強認ノ効力ヲ生セス

第二 訴訟ノ對手人又ハ其關係人ニ對シ強認ノ効力ヲ生スルモノトス

捺印契約ハ固ヨリ契約ナルニヨリ對人權ヲ生スルニ止マルモノトス故ニ強認ノ効力ヲ生スルハ其契約ヲ爲シタル本人及ヒ其關係人ニ對スルノミニシテ第三者ノ權利義務ニ影響ヲ及ホサレハ第三者ハ何時ニテモ之ニ對シテ抗辨ヲ爲シ得ルモノトス而シテ關係人トハ如何ナル人ヲ指スヤハ記録強認ノ場合ニ於テ之ヲ説明シタルヲ以テ茲ニ再説セス

第三 契約者雙方ニ對シ強認ノ効力ヲ生スルモノトス本項ノ規定ハ雙務契約ノ場合ニ之ヲ適用シ得ルニ止マルモノトス凡

ソ雙務ノ契約證書ハ雙方ノ利益ノ爲メニ之ヲ作リタルモノナレハ一方ニ對シテ強認ノ効力ヲ生スルハ又他方ニ對シテモ強認ノ効力ヲ生スヘキハ當然ナリ然レモ片務ノ契約證書ノ場合ニ於テハ其證書ヲ作リタル者ニ對シテノミ強認ノ効力ヲ生スルモノトス

第四 強認ト強認ト抵觸スルハ互ノ効力ヲ消散セシムルモノトス
捺印證書ヲ以テ契約ヲ取結ヒタルハ強認ノ効力ヲ生スルハ勿論ナレモ他ノ捺印證書ヲ以テ其契約ニ影響ヲ及ボスヘキ契約ヲ取結ヒタルハ此契約モ亦強認ノ効力ヲ生スヘキナリ然ルハ強認ト強認ト相抵觸スルノ結果ヲ生スルニヨリ法律ハ互ニ其効力ヲ消散セシメタルモノト見做シ單ニ事實トシテ其何レニ効力アリヤ否ヲ判決セシムルモノトス例ヘハ甲者ヨリ乙者ニ土地ヲ讓リ渡スヘシトノ捺印證書ヲ渡シ又乙者ヨリ甲者ニ其土地ヲ借用スヘシトノ捺印證書ヲ渡シタ

ルカ如キ場合ニ於テ契約者ハ互ニ捺印證書アルノ故ヲ以テ強認ヲ主張スルコトヲ得ス只其證書ヲ證據トシテ提出シ何レノ契約カ有効ナルヤノ判決ヲ受クルニ止マルモノトス

第五 強認トシテ特ニ論告セサル可ラス

捺印證書ヲシテ強認ノ効力ヲ生セシムルニ付テハ特ニ論辨書中ニ其事實ヲ記載シテ之ヲ論告セサル可ラス元來捺印證書ノ場合ハ記録ノ場合ト異ナル所アリテ全ク契約者ノ所爲ニ出タルモノナレハ裁判ノ如ク公益保護ノ目的ニ出テタルモノト云フコト能ハス故ニ縱令モ裁判ノ場合ニ於テハ論告セサルモ強認ノ効力ヲ失ハスト云フヲ得ヘキモ此場合ニ於テハ對手人カ特ニ論告セサルハ其權利ヲ拋棄シタルモノト見做スヲ得ヘキナリ判事ケ子デイ氏曰ク裁判ヨリ生スル強認ト訴訟人ノ所爲ヨリ生スル強認トノ間ニハ大ナル差異アリ何トナレハ

所爲ヨリ生スル強認ハ合意ニ因テ生スルモノナルヲ以テ之ヲ利用スルト否トハ訴訟人ノ自由ナルヲ勿論ナレハナリト然レモ米國ニ於テハ此場合モ亦記録ノ場合ト同シク論告セスシテ單ニ證據トシテ提出スルモ尙ホ強認ノ効力ヲ生スルモノト爲スカ如シ又之ニ反シテ英國ニ於テハ此場合ヲ記録ノ場合ト同一視シ之ヲ論告セサルモハ強認ノ効力ヲ生セシメス要スルニ英米兩國ノ法律ニ於テ捺印證書ヲ記録ト同一視スルハ畢竟捺印證書ノ成立嚴正ニシテ記録ニ等シキ効力アリト見做シタルカ故ナランカ

第六 相當ノ式ヲ履ミテ成立シタル捺印證書ナラサル可ラス
 正當ニ成立セサル證書ハ之ヲ捺印證書ト云フコト能ハサルヲ以テ強認ノ効力ヲ生セス即チ捺印ヲ爲サ、ルカ又ハ引渡ノ式ヲ履行セサル證書ハ正當ニ成立セサルモノナリ

第七 詐欺、強迫、又ハ不法ニ因テ成立シタル證書ハ強認ノ効力ヲ生セス

詐欺、強迫、又ハ不法ニ因テ成立シタル契約ハ無効又ハ無効ト爲シ得ヘキモノナレハ強認ノ効力ヲ生セサルナリ

第八 契約者ニ於テ能力ヲ有セサル可ラス
 凡ソ契約ヲ有効ト爲スニ付テハ契約者ニ於テ能力ヲ有セサル可ラス若シ能力ヲ有セスシテ取結ヒタル契約ナルモハ之ヲ無効ト爲スヘキヲ以テ強認ノ効力ヲ生セス例ヘハ幼者、結婚婦、醉狂者ノ取結ヒタル契約ノ如キ強認ノ効力ヲ有セサルヲ以テ之ヲ理由トシテ抗辨スルコトヲ得ヘシ

第三節 普通強認 (Estoppel in Pais)

普通強認トハ記録又ハ捺印證書ニ因テ生セサル強認ヲ云フ英語ニ之

ヲ「エストツベル、イン、ペー」ト云フ「ペー」トハ元來佛國ノ語ニシテ國ト云フノ義ナリシカ之ヲ國民ノ義ニ轉用セリ彼ノ陪審裁判ヲ「トライアル、イン、ペー」(Trial in Pais)即チ國民裁判ト云フカ如シ然ルニ又之ヲ轉用シテ法律ヲ以テ規定セサル事實ヲ指スニ至レリ即チ事實上ノ事柄ヲ「マタル、イン、ペー」(Matter in Pais)ト云ヒ法律上ノ事柄ヲ「マタル、オフ、レコルド」(Matter of Record)ト云フカ如キ是ナリ今茲ニ述フル所ノ「エストツベル、イン、ペー」ハ即チ事實ノ義ナリ然ラハ之ヲ事實強認ト云フモ可ナレド記録強認及ヒ捺印強認モ亦事實ニ關スルモノナレハ或ハ之ヲ混同スルノ恐レナシトセス故ニ之ヲ他ノ強認ト區別センカ爲メニ普通強認ト稱スヘシ

普通強認ト記録強認ト異ナル所ハ前ニ述ヘタル捺印強認ト記録強認ト異ナルト同一ナリ而シテ普通強認捺印強認ハ等シク訴訟人ノ所爲ヨリ生シタルモノナレド尙ホ其間ニ差異ノ存スルアリ即チ捺印強認ハ契約者雙方ノ合意ヲ必要トスレド普通強認ハ合意ヲ必要トセス又捺印強認ハ之ヲ論告スルヲ必要トスレド普通強認ハ之ヲ論告スルヲ必要トセス

記録若クハ口頭ヲ以テ取結ヒタル契約又ハ單ニ所爲ニ止マルモノニテモ普通強認ノ効力ヲ生スヘキナリ然レド如何ナル契約、如何ナル所爲ニテモ強認ノ効力ヲ生スヘシト云フニアラス只其最モ著明ナル場合ニアラサレハ強認ノ効力ヲ生セス元來此種ノ強認ハ捺印契約ノ如ク嚴正ナル式ヲ履ミタルニアラサルモ或ル行爲ニシテ殆ント之ニ等シキ嚴正ノ性質ヲ有スルモノアルヲ以テ終ニ強認ノ効力ヲ付スルノ必要ヲ感スルニ至レリ是レ普通強認ノ起源ニシテ昔時ニ在テハ其種類甚タ僅少ナリ例ヘハ土地ノ引渡、土地ノ分割ノ如キ總テ土地ニ關ス

ル事柄ニ付テハ昔時一定ノ式ヲ必要トシタルヨリ彼ノ捺印證書ノ場合ト同シク之ニ強認ノ効力ヲ與ヘタリ然ルニ此原則ハ漸次之ヲ擴張シ終ニ近時ニ在テハ大ニ其精神ヲ一變スルニ至レリ蓋シ昔時ニ在テハ單ニ外形ノ嚴正如何ニ着目シタリシモ近時ニ在テハ商業繁盛ナルニ從ヒ專ラ人ノ信用良心ニ注目スルニ至レルヲ以テ其信用良心ヲ保護スル爲メニ強認ヲ利用スルコトナレリ

或ル場合ニ於テハ普通強認トシテ論スルヲ得ヘク又之ヲ捺印強認トシテ論スルヲ得ヘキモノアリ例ヘハ捺印借地證書ニ因テ生シタル借地ノ關係ノ如キ是ナリ此場合ニ於テハ捺印借地證書ヲ以テ強認ノ効力ヲ生シ得ヘク又借地ノ事實ヲ以テ強認ノ効力ヲ生シ得ヘシ故ニ借地人ニ於テハ其證書ノ有無ニ關セス地主ノ權利ヲ非認スルコトヲ得サルナリ

普通強認ノ著名ナル効用ハ其強認ノ効力ヲ生セシムルニ付キ特ニ強認トシテ之ヲ論告スルノ必要ナキコト是ナリ抑モ此種ノ強認タル直接ニ事實ヲ基礎トシテ生スルモノナレハ之ヲ事實トシテ見ルモ亦之ヲ強認トシテ見ルモ敢テ異ナルヘキ道理アラサルナリ語ヲ換ヘテ云ヘハ法律カ其事柄自身ニ効力ヲ付スルモノナレハ他ノ場合ノ如ク論告ヲ待テ効力ヲ生スルモノニアラス是レ則チ普通強認ノ名稱アル所以ナリ例ヘハ人アリ他人ヲ自己ノ代理人ナリト表示シ以テ第三者ニ契約ヲ取結ハシメタリ此契約ハ本人カ直接ニ取結ヒタル場合ト異ナルコトナク本人ニ對シテ有効ノ契約ナレハ陪審官ト雖モ事實上契約ニアラスト判決スルコト能ハサルヲ以テ之ヲ論告スルモ亦否ラサルモ毫モ差異ヲ生セサルナリ而シテ普通強認ニシテ特ニ之ヲ論告シ得ヘキモノナリヤ否ハ大ニ學者ノ議論ヲ惹キ起シタル點ナリトス其之ヲ論告

ス可ラスト云フ者ノ説ニ依レハ普通ノ事柄ヲ論告スルハ論辦法ノ原則ニ背馳スルモノナリ何トナレハ如何ニ強認ノ効力アル事柄ニテモ之ヲ證據トシテ記録ニ掲載スルハ論辦法ノ禁スル所ナレハナリト反對論者曰ク論辨書ニハ事實ヲ掲載シ得ルモノナレハ其事實ヲ強認トシテ論シ得サルノ理由ナシ抑モ普通ノ強認ヲシテ單ニ證據トシテノミ提出シ得ヘキモノトスレハ之ヲ論告シ得可ラサルハ勿論ナレモ之ヲ斯ノ如ク狹隘ニ解セサルヲ得サルノ理由アル可ラス故ニ強認トシテ論告スルモ敢テ妨ケナシト終ニ論告シ得ルモノト決定セラレタリ

以下順次普通強認ノ重ナル場合ヲ論述スヘシ

第一 占有ニ關スル強認 (Estoppel arising from possession)

占有ニ關スル強認トハ動産若クハ不動産ヲ占有シタル事實ニ因リ其占有者ニ於テ所有者ニ對シ抗辨ヲ許サ、ル法律規則ヲ云フ其重ナル

場合ハ左ノ如シ

(一) 借主ニ對スル強認 凡ソ貸借ノ關係成立シタル以上ハ其貸借ノ物件ニ付キ借主ニ於テ貸主ノ所有權ナキヲ主張スルヲ許サス蓋シ法律ハ借主ニ於テ貸主ニ所有權アルヲ承認シタルモノト見做セハナリ又一方ヨリ論スレハ借主ハ貸主ノ有スル權利ノ一部ヲ借入レタルニ止マリ貸主ヨリ大ナル權利ヲ有スル理由ナキヲ以テ貸主ニ對シ其權利ノ有無ヲ論スルヲ能ハサルナリ是レ借主ニ對スル強認ノ生スル所以ナリトス

借主ニ對スル強認ハ古來ヨリ使用シ來リタル強認ノ最モ著名ナルモノナリ然レモ昔時ノ強認ト現時ノ強認トハ相異ナル所アリ昔時ノ強認ハ捺印證書ヲ以テ爲シタル土地ノ貸借ノミニ限レリト雖モ現時ノ強認ハ動産不動産ニ適用シ得ルノミナラス捺印證書ヲ以テ

爲サ、ル貸借ニモ亦之ヲ適用シ得ルモノトス之ヲ要スルニ昔時ノ強認ハ專ラ捺印ヲ主眼ト爲シタレモ現時ノ強認ハ占有ヲ主眼ト爲スニアリテ其結果タルヤ昔時ノ強認ハ捺印證書ニ記載ノ期限ノ經過スルト同時ニ消滅シタルモノナレモ現時ノ強認ハ期限ノ經過ニ拘ラス占有ヲ失フト同時ニ消滅スルモノトス

借主ニ對スル強認タル元來貸借ノ契約ニ因テ生スルモノナレハ此強認ニ必要ナル條件ハ概シテ捺印強認ニ必要ナル條件ト異ナル所ナシ即チ左ノ如シ

- (イ)契約者ニ於テ能力ヲ有セサル可ラス
- (ロ)約因アルヲ要ス
- (ハ)關係人ニ對シ効力アルニ止マルモノトス
- (ニ)詐欺強迫又ハ不法ニ因テ成立シタル契約ハ強認ノ効力ヲ生セス

借主ハ貸主ニ對シテ其所有權ヲ抗拒シ得可ラサルハ一般ノ原則ナリ然レモ左ノ場合ニ於テハ其所有權ヲ抗拒スルヲ得ヘシ

- (イ)貸主ノ所有權カ消滅シタルモ 例へハ甲者ニ乙者ノ畢生間或ル土地ヲ所有スルノ權利アリテ其土地ヲ丙者ニ貸渡シタリ然ルニ乙者カ死去シタルニヨリ復歸權(Reversion)ヲ有スル丁者カ其土地ヲ所有スルコトナレルヲ以テ爾來丙者ハ地代ヲ丁者ニ納メタリシカ又甲者ニ於テ丙者ニ對シ地代ノ請求ヲ爲シタリ此場合ニ於テ丙者ハ甲者ノ權利ノ消滅シタルヲ理由トシテ之ヲ抗拒スルヲ得ハシ

- (ロ)借主ニ於テ借用ヲ爲スノ前已ニ物件ヲ占有シ居リタルモ 例へハ甲者ニ於テ一ノ土地ヲ占有シ居リタルニ乙者ニ於テ其土地ノ所有者ナリトノ故ヲ以テ甲者ニ對シ借地證書ヲ差入レ相當ノ地

代ヲ拂フヘキコヲ請求シタリ是ニ於テ甲者ハ乙者ヲ所有者ナリト信シ借地證書ヲ差入レタルモ後ニ至リ丙者カ其土地ノ正當ノ所有者ナルコヲ發見セシニ因リ甲者ハ乙者ニ對シ其所有權ナキコヲ理由トシテ地代ノ支拂ヲ拒絕スルコヲ得ルカ如シ然レモ此點ニ付テハ頗ル議論ノ存スル所ニシテ之ニ反スル判決例少カラス

(ハ)借主ニ於テ貸主ノ所有權ヲ認メサル所爲ヲ爲シ而シテ貸主ニ於テ其所爲ヲ認知シタルモ

(ニ)借主ニ於テ貸主ノ所有權ヲ買入レタルモ

借主ニ於テ貸主カ現在有スル權利ヲ抗拒スルコ能ハサルハ右數項ニ述ヘタルカ如シト雖モ其貸主カ貸借以前ニ於テ所有權ヲ有セザリシコヲ主張シテ抗拒スルヲ得ル場合アリ例ヘハ千八百二十四年

ニ甲者ニ於テ乙者ヨリ地所ヲ借入レタリ然ルニ丙者ハ千八百十年ニ其地所ヲ乙者ヨリ讓受ケタリト云フヲ以テ丙者ハ甲者ニ對シ立退ノ訴訟ヲ起シタリ此場合ニ於テ甲者ハ丙者ニ對シ丁者カ千八百十年ニ所有權ヲ有セシヲ以テ當時乙者ニ所有權ナカリシト云フヲ理由トシテ其立退ヲ拒絕スルコヲ得ルカ如シ

(二)受託者ニ對スル強認 附託ヨリ生スル關係モ亦貸借ヨリ生スル關係ト同一ナリ故ニ受託者ハ附託者ニ對シ附託セラレタル物品ニ付キ所有權ノ有無ヲ論シ物品ノ返還ヲ拒ムコヲ許サス然レモ受託者ハ附託者ヨリ大ナル權利ヲ有スル者ニ其物品ヲ引渡シタルモ之ヲ以テ附託者ニ對シ抗拒ノ材料ト爲スコヲ得ヘシ

第二 流通證書ニ關スル強認 (Estoppel arising from negotiable instruments)

(一)筆蹟ノ強認 爲替手形ヲ承諾シタル者ハ其手形振出人ノ筆蹟ノ真

正ナルコヲ認諾シタルモノトス故ニ承諾ヲ爲シタル後ニ在テハ良
意有酬ノ手形所持人ニ對シ其筆蹟ノ眞偽ヲ論シ以テ拂渡ヲ抗拒ス
ルコヲ得ス

又爲替手形、約束手形ノ裏書人ハ己レヨリ以前ノ裏書人ノ筆蹟ノ眞
正ナルコヲ認諾シタルモノトス故ニ其裏書ヲ爲シタル後ニ在テ筆
蹟ノ眞偽ヲ論シ拂渡ヲ抗拒スルコヲ得ス

(二)能力ノ強認 記名人ニ拂渡スヘキ爲替手形若クハ約束手形ノ振出
人ハ其記名人ニ於テ手形ニ裏書スルノ能力ヲ有スルコヲ擔保シタ
ルモノトス故ニ振出人ハ記名人ノ能力ナキヲ理由トシテ支拂人ニ
對シ抗拒スルコヲ得ス

又爲替手形若クハ約束手形ヲ裏書シタル人ハ己レヨリ以前ニ裏書
シタル人ノ能力アルコヲ擔保シタルモノトス故ニ其不能力ヲ理由
トシテ抗拒スルコヲ得ス

第三 代理ニ關スル強認 (Estoppel arising from agency)

凡ソ代理委任ノ範圍内ニアリト見做シ得ヘキ事柄ハ縱令ヒ本人ニ於
テ實際其委任ヲ爲サ、ルモ之ヲ委任シタルモノトシテ義務ヲ免ル、
コヲ得ス故ニ斯ル事柄ニ付テハ本人ニ於テ其委任外ナルコヲ理由ト
シテ抗拒スルコヲ得ス此原則タル特リ普通ノ代理ニ止マラス組合若
クハ會社ノ關係ニ因テ生スル所ノ代理ニモ亦之ヲ適用スルコヲ得ヘ
シ

第四 所爲ニ關スル強認 (Estoppel arising from conduct)

凡ソ記録強認ノ外ハ捺印強認ト雖モ所爲ニ因テ生シタルモノナリ然
レモ是等ノ場合ハ直接ニ其所爲ヲ目的トシタルモノニアラス之ニ反
シテ今茲ニ論スル所ノ強認ハ直接ニ其所爲ヲ目的トシタルモノナリ

故ニ英國學者ハ此種ノ強認ノミヲ稱シテ所爲ノ強認ト云フニ至レリ所爲ノ強認ハ近時ニ在テ之ヲ利用スルニ至リシモノニシテ其起源ハ衡平法ノ原則ニ出タルモノナリ其原則ニ依レハ他人ニ表示ヲ爲シテ之ニ信用ヲ置カシメ而シテ表示者ニ於テ其表示ノ不實ナルコトヲ知ルカ又ハ知ルノ義務アルルハ表示者ニ於テ其責ニ當ラサル可ラス是レ所爲ノ強認ノ起源ナリ故ニ此強認ヲ名ケテ衡平法上ノ強認(Equitable Estoppel)失行ヨリ生スル強認(Estoppel arising from misconduct)又ハ不實ナル表示ノ強認(Estoppel arising from misrepresentation)トモ云フ

此種ノ強認ノ効力ヲ生セシムルニ付テハ左ノ條件ヲ必要トス

(一)必要ナル事實ニ付キ表示(Representation)又ハ隱匿(Concealment)ノ所爲ナカラサル可ラス 必要ナル事實トハ普通人カ信用ヲ置キ因テ以テ其地位ヲ變スルニ足ルヘキ事實ヲ云フ

表示ハ事實ニ付テ之ヲ爲サハル可ラス故ニ單ニ一己ノ意見若クハ法律ノ陳述ニ止マルルハ強認ノ効力ヲ生セス而シテ其事實ニ付テノ表示ハ過去若クハ現在ノ事實ニ對シ爲シタルモノナラサル可ラス何トナレハ未來ノ事實ニ付テ爲シタルモノハ只一己ノ意見ヲ陳述シタルニ過キサルヲ以テ他人ノ信用ヲ惹キ起スニ足ラサレハナリ

表示ハ直接ニ言語ヲ以テ爲シ得ヘク又單ニ所爲ノミヲ以テ爲スコトヲ得ヘシ而シテ隱匿ハ單ニ所爲ノミヲ以テ爲シ得ルモノトス

(二)事實ヲ知リテ表示セサル可ラス 表示者ニ於テ自ラ表示セル事實ノ眞實ナラサルコトヲ知得シ居ルコトヲ必要トス而シテ事實ノ眞實ヲ知得スルニ付キ直接ノモノアリ間接ノモノアリ直接ノ知得トハ表示者ニ於テ眞實ナラスト感シタルモノナリ間接ノ知得トハ表示者

ニ於テ眞實ナラサルコヲ知ラサルヲ得サル地位ニ立チタルヲ以テ之ヲ知ルモノト推測スル場合又ハ實際知ラサルモ共知ラサルハ自己ノ過失ヨリ起ルモノニシテ法律カ知リタルト同一ノ責任ヲ負擔セシムル場合ヲ云フ

(三)表示セラレタル者ニ於テ事實ノ眞實ヲ知ラサルコヲ要ス 表示セラレタル人ハ表示シタル人ト反對ノ地位ニ立ツモノナレハ直接又ハ間接ニ事實ノ眞實ナルコヲ知ラサルヲ要ス故ニ若シ之ヲ知リタルトハ其表示ニ因テ損害ヲ蒙リタリト云フコヲ得サルヲ以テ表示者ニ對シテ強認ノ効力ヲ生セス

(四)表示者ニ於テ表示セラレタル者ノ地位ヲ變セシムルノ意ヲ以テ爲シタル表示ナラサル可ラス

(五)表示セラレタル者ニ於テ其表示ニ因リ地位ヲ變セサル可ラス 表

示セラレタル者ニ於テ表示ニ因リ地位ヲ變スルニアラサレハ強認ノ効力ヲ生セス何トナレハ其地位ヲ變セサルニ於テハ未タ全ク表示ノ實効アラサレハナリ語ヲ換ヘテ云ヘハ損害ナキノ表示ハ強認ノ効力ヲ生スルノ限リニアラス

以上ノ五條件ハ表示ヲシテ強認ノ効力ヲ生セシムルニ付キ必要ナリトス而シテ他ノ強認ト同シク左ノ場合ニ於テハ尙ホ其効力ヲ生セス
 (一)無關係ナル第三者ニ對シテハ効力ナシ故ニ其強認ノ効力ヲ及ボスヘキ者ハ本人及其關係人ニ止マルモノトス

(二)無能力者ニ對シテハ私犯ヨリ生スル場合ニ於テノミ効力アリ故ニ契約ヨリ生スル場合ニ於テハ強認ノ効力ナキモノトス

第七章 假定 (Fiction)

假定トハ或ル不眞實ノ事實ヲ眞實ナリト假定スル法律規則ヲ云フ故ニ假定ハ法律推測ニ似テ非ナルモノナレハ推測ト假定ノ二者決シテ之ヲ混合ス可ラス何トナレハ推測ニ於テハ其推測シタル事實ノ眞實ナルコアリ又不眞實ナルコアルモ其推測ノ當時ニ在テハ之ヲ眞實ト見做シタルモノナリ之ニ反シ假定ニ於テハ其假定シタル事實ノ不眞實ナルコハ當初ヨリ明白ナレハナリ例ヘハ七歳以下ノ幼者カ罪ヲ犯スノ能力ナシトノ推測ハ概シテ眞實ナルヘキモ特別ノ場合ニ於テ眞實ナラサルコアルヘシ之ニ反シテ海上ニ於テ取結ヒタル契約ハ之ヲ英國ニ於テ取結ヒタルモノト假定スルカ如キハ當初ヨリ不眞實ナルコ明ラカナリ

假定ノ性質斯ノ如シ然ルニ法律ハ如何ナル理由ニ依テ之ヲ使用スルニ至リシカ抑モ立法官タル者ハ自ラ必要ト見認ムル場合ニ於テ直接ニ法律規則ヲ設ケ得ルヲ以テ假定ヲ用非ルノ必要ナシト雖モ裁判官ハ然ラス只立法官カ制定シタル法律規則ヲ遵守スルノ責任アリテ如何ニ不正、不法ト見認ムル法律規則モ自己ノ意見ヲ以テ之ヲ變更スルコ能ハス是ニ於テ裁判官ハ一面法律ヲ依然存在セシメ一面其法律ヲ適用スヘキ事實ヲ假定シテ救正ヲ與フルノ手段ヲ發見スルニ至レリ是レ假定ノ法律中ニ現出スル所以ナリトスブラッグストーン氏曾テ假定ヲ評シテ曰ク一見之ニ接スルハ人ヲシテ覺ヘス愕然タラシムヘシ然レモ其實用ニ至リテハ有益必要ナルコヲ感セシムト假定ハ羅馬ノ裁判官カ屢使用シタルモノナリ羅馬ノ文化次第ニ進歩シタリト雖モ夫ノ普通法ハ依然存在シテ其効ヲ失ハスシテ爲メニ人民ノ不幸ヲ醸シタルコ少カラス是ニ於テ「プレトル」(Praetor)ハ假定ヲ使用シテ其人民進歩ノ度ニ適當シタル裁判ヲ與フルコヲ試ミタリ是レ畢竟法律

ヲ制定スルノ容易ナラサルヨリ起リタル結果ナレハ現今ノ如ク法律ヲ變更スルノ容易ナル時世ニ在テハ固ヨリ假定ヲ使用スルノ必要ナシ故ニ英國ニ於テハ其法律中殆ント跡ヲ絶ツニ至レリ

學者假定ヲ三種ニ區別セリ左ノ如シ

第一 有的ノ假定 (Positive Fiction)

即チ實際成立セサル事實ヲ成立シタルモノナリト假定スルヲ云フ例ヘハ死シタル人ヲ尙ホ生存スルモノト假定スルカ如シ

第二 無的ノ假定 (Negative Fiction)

即チ實際成立スルモノヲ成立セスト假定スルヲ云フ例ヘハ生存シタル人ヲ死シタリト假定スルカ如シ

第三 關係的ノ假定 (Relative Fiction)

即チ人物場所又時ノ關係ニ付テ爲ス所ノ假定ヲ云フ例ヘハ家僕ノ行

爲ヲ以テ主人ノ行爲ト爲スカ如キハ人ニ付テノ假定ニシテ動産ヲ以テ不動産ナリトスルカ如キハ物ニ付テノ假定ナリ又海上ニ於テ取結ヒタル契約ヲ英國ニ於テ取結ヒタル契約ト見做スカ如キハ場所ニ付テノ假定ニシテ去年取結ヒタル契約ヲ今年取結ヒタル契約ト見做スカ如キハ時ニ付テノ假定ナリ

假定ハ固ト公平ヲ維持スルノ目的ヲ以テ之ヲ爲スモノナリ故ニ左ノ規則ヲ遵守スルヲ必要トス

(一) 假定シタル事實ハ必然起リ得ヘキ事實ナラサル可ラス故ニ必然起リ得可ラサル事實ハ假定スルヲ許サス例ヘハ甲者カ三千年活キタリト假定スルカ如キハ無効ナリトス

(二) 假定ヲ以テ害ヲ與フルノ材料ト爲ス可ラス

(三) 假定ハ其救正セントスル目的ノ外ニ之ヲ及ホス可ラス

英國證據法 大尾

明治廿二年八月一日印刷
同年同月二日出版

定價金一圓四角

著者

東京府士族 岡村輝彦
神奈川縣橫濱市伊勢町一丁目八番地

發行者兼
版權所有者

東京府士族 小柳津要人
東京市日本橋區通三丁目十四番地

印刷者

滋賀縣士族 熊田宜遜
東京市神田區松下町十三番地寄留
熊田活版所



版權登錄

發行所

東京日本橋通三丁目
丸善商社書店

肆書捌賣

東京神田表神保町
同 新橋竹川町
同 銀座四丁目
京都河原町通二條下
大坂北久寶寺四丁目
同 備後町四丁目
同 北久太郎町四丁目
同 南久寶寺町四丁目
名古屋京町一丁目
同 本町三丁目
金澤片町
熊本新二丁目

中西屋邦太
共益商社支店
博聞社
大黒屋書店
丸屋書店
梅原龜七
柳原喜兵衛
前川善兵衛
村松五郎
川瀬代助
益智館
長崎次郎

肆書捌賣

新潟古町通六番町
津大門町
飯田池田町
静岡江川町
濱松紺屋町
仙臺國分町
山形七日町
函館末廣町
神戸相生橋
松山湊町
青森米町
横濱辨天通

櫻井産作
河島九右衛門
奥村收藏
廣瀬市藏
谷嶋屋源三郎
高藤書店
五十嵐太右衛門
魁文社
熊谷久榮堂
土肥與兵衛
成田泰
丸屋書店

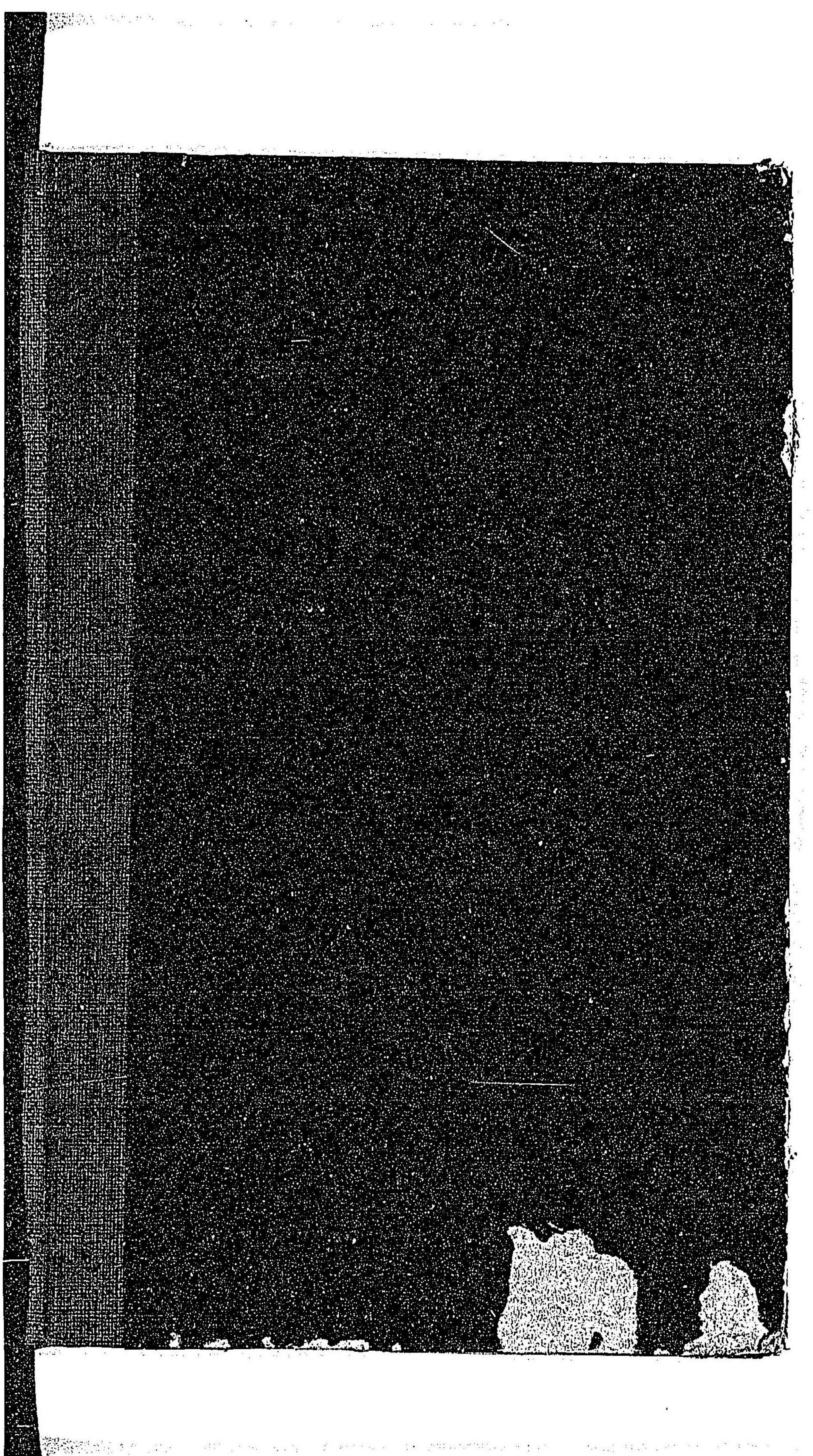
K 117

肆書捌賣

長崎引地町
 同 酒屋町
 佐賀白山町
 柳川瀬高町
 久留米米屋町
 鹿兒島六日町通り中町
 高知種崎町
 同 堺町
 廣島横町
 岡山上之町
 松江天神町
 富山東四十物町

中	川	細	松	山	澤	吉	菊	官	河	安	鶴
田	岡	村	中	本	田	竹	本	宗	内	中	野
書	清	謹	善	駒	幸	儀	四	壯	半	三	常
店	助	舍	助	助	吉	衛	平	郎	介	郎	造

38
68





036596-000-4

38-68

英国証拠法

岡村 輝彦 / 著

M22

BBS-0009

